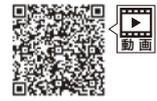


## 道の駅の今後の進め方について



答弁

市民が自慢できるシンボリックな施設となるよう努める

アグリサイエンスバレー推進チーム参事

**議員**  
道の駅について、今どのようなことを考えているのか。

**副市長**  
当市の道の駅の大きな特徴は、単独整備でなく、隣接する民間集客施設や観光農園、都市公園と一体的に整備をすることで集客増加につながると考えている。

**議員**  
道の駅の内容についてはどうか。

**副市長**  
ただ買い物をするだけの直売所とするのではなく、道の駅に訪れる多くの来訪者の方々を常総市内全域に還流させ、市全体を活性化させる起爆剤、拠点としていくことが最大の目標で、確実に実現させなければならぬものと思っている。

**議員**  
これだけではどうしても、当市の道の駅の中に入れておかなければならない目玉になるものは何かあるか。

風野 芳之 議員

## 大地震の際の建物やブロック塀の現状と対策・課題について



答弁

国の事業に基づいて耐震化を図るための補助を活用し、地震に強いまちづくりを推進している

た。耐震化率95%を目指して、地震に対する耐震改修促進の必要性を啓発している。

**議員**  
木造住宅の耐震化目標を達成するための対策内容について具体的な説明を求める。

**都市建設部長**  
令和3年度以降の木造住宅の耐震化を推進するため、「総合支援メニュー」の導入を検討している。今後も国・県と連携を取りながら、積極的に取り組んでいく。

「総合支援メニュー」は、補強設計と改修工事、または建て替えをセットで行う際に、最大100万円を補助する制度である。旧来は耐震改修工事のみの補助金であったが、「総合支援メニュー」では、診断を行い、耐震性がないと判明した住宅については、補強設計を行い、積算された改修工事相当額を新築住宅建て替え費用に充当もでき、市民ニーズに柔軟に対応した制度となっている。

道の駅の建物を、民間集客施設と調和のとれた配置と景観にするともに、木材の積極的な使用、防災機能についても検討していく。また、既存の道の駅では、情報発信としてパンフレットが置いてあるだけのところが多いが、当市は電子看板などで最新の情報を出したり、来訪者と地域を結ぶために、案内役のコンシェルジュを置くことも検討していく。

**議員**  
道の駅を造って、後々当市が大変な負担になって困ったということが起きないように、しっかりと検証していきたい。また、コロナ禍という状況もあり、本当に頭の痛い問題がたくさんあると思うが、斬新的な、いわゆる全国に稀なる、当市の道の駅だと言われようなもの、是非とも造っていただきたい。場所的にもインターのすぐ近くで有望なことから、みんなが寄ってくるような道の駅の構想というものをやっていただきたい。

**議員**  
道の駅を造って、後々当市が大変な負担になって困ったということが起きないように、しっかりと検証していきたい。また、コロナ禍という状況もあり、本当に頭の痛い問題がたくさんあると思うが、斬新的な、いわゆる全国に稀なる、当市の道の駅だと言われようなもの、是非とも造っていただきたい。場所的にもインターのすぐ近くで有望なことから、みんなが寄ってくるような道の駅の構想というものをやっていただきたい。

坂野 茂実 議員

**都市計画課長**  
平成21年度の耐震化率60%から平成31年度には69%に上昇し

**議員**  
平成21年から実施している耐震化の補助事業について、当初から現在までの耐震化率と目標を問う。

**議員**  
平成21年から実施している耐震化の補助事業について、当初から現在までの耐震化率と目標を問う。